

2025(令和 7)年度
別科助産専攻入学者選抜
入試問題集

目次

- ・ 推薦型選抜 小論文問題 …… p.1
- ・ 一般選抜 小論文問題 …… p.2
- 専門科目問題 …… p.3～

令和 7 年度 推薦型選抜試験 小論文問題（60 分）

問題

産後パパ育休制度において、助産師に期待される役割について説明し、あなたの考えを 800 字以内で述べてください。

令和 7 年度 一般選抜試験 小論文問題（60 分）

問題 次の1～3のすべてについて、合わせて 800 字以内で述べてください。

1. プレコンセプションケアの定義
2. 思春期男子を対象にしたプレコンセプションケアの講義(50 分)の具体的な内容と実施時の留意点
3. その内容を選んだ理由

令和7年度 一般選抜試験

専門科目(母性看護学・小児看護学)(60 分)

問 1. 以下の内容について記載がある法律名を□の中から選べ（複数回使用あり）

1. 母子生活支援施設
2. 虐待を受けたと思われる児童を発見した際の通告義務
3. 妊娠、出産、育児などで退職した者が退職する際、就業可能となった場合に再雇用を希望した場合の特別な配慮について
4. 乳児家庭全戸訪問事業
5. 人工妊娠中絶の実施
6. 母子健康手帳の交付
7. 生後 1 年に満たない生児を育てる女性のための育児時間取得
8. 小学校就学前の子どもが病気をした際の休暇取得
9. 産後ケア事業
10. 母子健康包括支援センター

A. 児童虐待の防止等に関する法律 B. 戸籍法 C. 男女共同参画社会基本法
D. 少子化社会対策基本法 E. 次世代育成支援対策推進法 F. 死産の届け出に関する規程
G. 児童福祉法 H. 育児・介護休業法 I. 労働基準法 J. 母子保健法 K. 母体保護法
L. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 M. 育児休業、介護休業等
育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律

問 2. 母性看護に関連するモデルについて、提唱した理論家を□の中から選べ

1. 内的ワーキングモデル
2. 母子のきずな
3. 母親役割の達成
4. 障害受容の段階説
5. 危機への問題解決アプローチ

A. アギュレラ B. ボウルビィ C. ドローター D. マーサー E. クラウスとケネル

問 3. 健やか親子 21(第 2 次)の基盤課題は、基盤課題 A)切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策と、基盤課題 B)学童期・思春期から成人期に向けた保健対策を設定している。基盤課題 B)に含まれる項目を以下から二つ選べ

1. 産後うつ
2. 不妊
3. 低出生体重
4. 肥満・やせ
5. 予防接種

問4. 性感染症について正しいものを二つ選べ

1. クラミジア感染症は、他の性感染症に比べ罹患者が少ない
2. HPV ワクチンの公費負担での対象年齢は、中学 1 年から高校 3 年の女子である
3. 梅毒は一度感染すると免疫により再感染しない
4. 性器ヘルペスウイルスは、神経節などに潜伏感染する
5. 尖圭コンジローマ感染は女性に比べて男性に多い

問 5. 日本の HIV/ AIDS について以下のうち誤ったものを二つ選べ

1. 抗 HIV 療法を実施しない場合、AIDS 発症後死亡まで2年程といわれている
2. HIV 感染しても HIV 抗原や HIV 抗体が検出されないウィンドウ期があるため、検査時期は感染の可能性があるときから 2 か月以上経過している必要がある
3. HIV 感染妊婦の分娩は、児への感染を予防するため帝王切開を行う
4. HIV 感染妊婦から児への垂直感染は、予防措置により 1%以下である
5. HIV 感染妊婦から出生した児に初乳を与えた

問 6. 以下の原因探索するための不妊検査名を□から選べ(複数選択あり)

1. 排卵・卵巣因子
2. 男性因子
3. 卵管・子宮因子

A. 子宮鏡 B. 基礎体温 C. 子宮卵管造影 D. 通気通水試験 E. ホルモン検査 F. 卵胞発育検査 G. 精液検査

問 7. 記載された精神障害について以下の□から選べ

1. 産後 2～4週後にみられる抑うつ症状で、抑うつ、意欲低下、興味喪失、睡眠障害などであり、危険因子は、マタニティブルー、ソーシャルサポートの欠如などがある。
2. 成熟拒否など心理的問題をかかえていることが多く妊娠中に増加する体重を一定範囲で維持しようとし胎児への栄養供給が減少することがある。
3. 薬物療法をしながら妊娠することが多く、妊娠中に再発する頻度 4.0%、再燃する頻度 8.3%と高く、自己判断で服薬を中止しないようにする必要がある。症状は緊張性昏迷や幻覚、妄想状態などがある。
4. 妊娠中に悪化することが多く、子どもの体内に毒が入っているのではないかと、子どもを殺すのではないかと強迫観念や脅迫行為が出現する。
5. 出産 1000 件に対し 1～2 例発症する重篤な精神障害であり、産後 2 週間までの気分易変性、重度の焦燥感、混乱、気分障害などがある。
6. 妊娠を機に再燃することがあり、生まれてくる子どもへの心配、家族との関係、妊娠に伴う身体的変化などがある。症状として、イライラ・疲労倦怠感・頭痛・めまい・睡眠障害などが

ある。

7. 非計画的な妊娠や、妊娠による心身の変化が受容できない場合に発症することが多く、不眠、無気力感、無関心などの症状がある。性格として熱中性、几帳面、完璧主義で責任感が強い気質がある。

A. 不安症・不安障害 B. 産褥精神病 C. 抑うつ障害 D. 統合失調症 E. 摂食障害
F. 脅迫症・脅迫障害 G. 産後うつ病

問 8. 骨産道について、次の文章の()に入る語句を答えよ

骨盤は、()骨、()骨、()骨からなる左右の寛骨と、()骨、()骨からなる。骨産道入口部には岬角中央と恥骨結合後面との最短距離を示す()があり、分娩における意義が大きい。分娩時、胎児は回旋、屈曲しながら()に沿って進行する。

問 9. 胎児の産道通過機序を分娩の進行順に並べよ

- ア：小泉門が母体の側方から前方(恥骨結合側)に向かって回旋する
- イ：恥骨結合下縁を支点として児頭が屈位から伸展反屈する
- ウ：娩出された胎児の顔面が母体の後方から側方に向かうように回旋する
- エ：児頭の屈曲がさらに強まり、オトガイが胸壁に近づく

問 10. 新生児について以下のうち正しいものを二つ選べ

- 1. 卵円孔は生後数分で、動脈管は生後数日で機能的に閉鎖する
- 2. 新生児の主たる熱源は、ふるえ熱産生である。
- 3. 新生児の血糖は、生後 3～4 時間で最低値となる
- 4. 新生児の血中の間接ビリルビンは出生後の適応過程で上昇する
- 5. 出生時の新生児の IgM 値は母体由来である

問11. 小児感染症について、次の文章のうち正しいものを二つ選べ

- 1. 突発性発疹は、発熱と同時に全身に細かく淡い紅斑を生じる
- 2. RS ウイルスは発熱を伴わない場合も多い
- 3. ロタウイルスワクチンの定期接種は生後 4 か月から開始できる
- 4. 流行性耳下腺炎の感染経路は空気感染である
- 5. 百日咳の咳発作は夜間に増悪する

問12. 市町村がおこなう乳幼児健康診査のうち、母子保健法に基づくものを二つ選べ

- 1. 新生児聴覚検査
- 2. 4 か月児健康診査

- 3. 10 か月児健康診査
- 4. 1 歳 6 か月児健康診査
- 5. 3 歳児健康診査

問 13. 産後ケアについて以下のうち正しいものを二つ選べ

- 1. 母子保健法の改正により令和 2 年から実施が区町村の努力義務となった
- 2. 少子化社会対策要項において令和 7 年度末までの全国展開を目指すとしている
- 3. 令和 4 年度では、約 84%の市区町村で実施されている
- 4. 内容には、デイサービス型、アウトリーチ型、宿泊型がある
- 5. 退院直後の母子に対して心身のケアや育児のサポートを行い、産後も安心して子育てができるよう、ハイリスク妊産褥婦と児を対象として実施されている

問 14. 母乳分泌について正しいものを選べ

- 1. 乳汁生成 I 期は、エストロゲンの働きにより乳汁分泌が抑制される
- 2. 初乳は成乳よりラクトースと乳脂質を多く含む
- 3. 吸吮刺激により下垂体後葉から分泌されるプロラクチンは、腺房細胞に作用し、乳汁を産生する
- 4. オートクリン・コントロールは、授乳後に乳房内に残った乳汁の量によって乳汁産生量を調整する

問 15. 新型コロナ感染症について、以下のうち正しいものを二つ選べ

- 1. 妊娠初期に罹患した場合、重篤になりやすいため入院が推奨される
- 2. 分娩期に罹患した場合、児に対する感染予防のため帝王切開術が第一選択となる
- 3. 分娩期に罹患していたため、出生した児に新型コロナ検査を実施した
- 4. 分娩期に罹患していたため新型コロナウイルスの母乳への移行に留意して、母親が母乳希望であったが人工乳をあたえた
- 5. 感染妊婦が入院したため陰圧の部屋に収容した

問 16. 災害時対応・災害対策について、看護職の行動として適切なものを二つ選べ

- 1. パパママクラス、28 週初産婦に災害時に備えた準備用品の説明を実施した
- 2. NICU において保育器の転倒を避けるため、四隅を 4 点ロックした
- 3. 災害時、母乳育児を行うと母親に負担がかかるため液体ミルクの活用をすすめた
- 4. 産後入院中、歩ける母親には児を抱っこしてもらい避難誘導をした
- 5. 女性の羞恥心を考慮して、女性トイレの場所を人目につかないところに設置した

次の文章を読み、以下の問17～23に答えよ

事例

34歳の初産婦。妊娠経過は順調であった。妊娠39週5日初産婦。妊娠経過は順調であった。前日21時頃から不規則な下腹部痛がみられ睡眠がとれていなかった。3時30分ごろから陣痛周期が10分以内となり、9時に来院した。入院時は陣痛周期8分、陣痛発作40秒、胎児心拍数基線145～150bpm、基線細変動中等度であった。内診所見は子宮口3cm開大、Station－2、子宮頸管の硬度は中、子宮口の位置は中央で未破水であった。妊娠38週の胎児の推定体重は2800gであった。

問17. 入院時の助産師の対応で最も適切なものを選び

1. 分娩を促進するために院内を歩行してみましょう
2. シャワー浴はできません
3. 食事は無理にとらなくてもいいです
4. 足浴を行いましょう

13時に陣痛周期3分、陣痛発作40～50秒となり、産婦より、破水したようだと言えがあった。ナプキンを確認すると淡黄色の羊水が付着していた。

問18. 助産師の対応で適切なのはどれか

1. 飲食を禁止する
2. すぐに分娩の準備をする
3. 分娩監視装置を装着する
4. 陣痛促進を行う準備をする

15時23分に子宮口全開大となり、16時47分に2850gの男児を分娩した。出生1分後の児の心拍数は160bpm、大きな声で啼泣し、四肢を活発に動かしており、全身の色は蒼白であった。胎盤娩出は17時54分、母親のバイタルサインは正常、子宮底は臍下2横指、子宮の硬度は良好で、胎盤娩出後の出血量は445g、会陰にⅡ度裂傷がみられた。

問19. 分娩各期の所要時間および、総分娩所要時間を答えよ

分娩第1期:

分娩第2期:

分娩第3期:

総分娩所要時間:

問20. 新生児の生後1分のアプガースコアを答えよ

18 時 54 分の観察では、母親のバイタルサインは正常、子宮底臍下 2 横指、子宮の硬度は良好で悪露は 35g であった。

問 21. この時の助産師の説明で正しいものを選び

1. 排尿は次に尿意を感じたときにトイレに行きましょう
2. 分娩後間もないので帰室後の夕食は控えましょう
3. 出血が多かったので、早期母子接触は短めにしましょう
4. 創部の痛みが強くなる場合は痛み止めを内服できます

事例

妊娠・分娩経過に問題なく、妊娠 40 週 1 日に 2950g で出生した男児。4 か月健康診査のため来院した。現在完全母乳で育っており、身長・体重の発育は順調な範囲である。

問 22. この時期の児の成長・発達を評価するために適切な項目を選び

1. おすわり
2. 寝返りの有無
3. 追視
4. 人見知り
5. 小さなものをつまむ

問 23. 離乳食の開始について母親から質問があった。説明として正しいものを選び

1. お風呂上がりの水分補給として、湯冷ましを飲ませましょう
2. 生後 5 か月になったら授乳以外の水分補給を始めましょう
3. しばらくは母乳による水分補給で良いでしょう
4. 生後 6 か月になったら薄めた果汁を飲ませましょう